

第2号様式

令和4年度第1回・第2回法務省入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所	令和4年10月20日(木) 13:25～15:25 法務省共用会議室3 (大臣官房施設課旧入札室)	
委員	只木 誠 (大学教授) ※委員長 黒澤 正明 (公益社団法人監事) 遠藤 和義 (大学教授)	
審議対象期間	第1回 令和3年12月1日から令和4年3月31日まで	
抽出案件	総件数 89件	(備考)
工 一 般 競 争	40件	
標 準 指 名 競 争	0件	
事 随 意 契 約	33件	
簡 易 公 募 型 プ ロ ポ ー ザ ル 方 式	1件	
業 一 般 競 争	6件	
簡 易 公 募 型 競 争	1件	
務 標 準 指 名 競 争	0件	
随 意 契 約	8件	
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 具申又は勧告の内容	具申又は勧告	回 答
	なし	なし

開催日時及び場所	同上	
委員	同上	
審議対象期間	第2回 令和4年4月1日から令和4年7月31日まで	
抽出案件	総件数 160件	(備考)
工 一 般 競 争	116件	
標 準 指 名 競 争	0件	
事 随 意 契 約	16件	
簡易公募型プロポーザル方式	2件	
業 一 般 競 争	18件	
簡易公募型競争	0件	
務 標 準 指 名 競 争	0件	
随 意 契 約	8件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問, それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
	具申又は勧告	回 答
委員会による意見 具申又は勧告の内容	なし	なし

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回及び第2回の合同審議とした。

意見・質問	回答
<p>1 工事の発注状況について</p> <p>年度末である第1回と年度当初である第2回の発注件数を比較すると年度当初の第2回の件数の方が多くなっているが、何か理由はあるのか。</p>	<p>昨年末に成立した補正予算で措置された案件について、予算の繰越手続を実施した上で第2回の対象期間中に契約手続を行ったものがあるため、それが第2回の件数増に影響しているものと思われる。</p>
<p>2 業務の発注状況について</p> <p>意見・質問なし</p>	
<p>3 応札者が一者であった契約について</p> <p>意見・質問なし</p>	
<p>4 指名停止の運用状況について</p> <p>意見・質問なし</p>	
<p>5 工事抽出案件について</p> <p>(1) 令和3年度横浜刑務所職員宿舎 (1) 等新営(建築)工事 [第1回]</p> <p>評定考査結果整理票(総括表)について、提案項目に係る評価点が0点であったものがあるが、その理由は何か。</p> <p>工期中に資材の価格高騰によるスライド請求をしていないか。</p> <p>また、予定価格の積算時、資材の価格高騰を見込んでいたのか。</p> <p>(2) 令和3年度和歌山刑務所第2寮等改修等工事 [第2回]</p> <p>各応札業者の入札金額の開差が大きいが、何か考えられる要因はあるか。</p>	<p>提案項目が、標準案として図面等で示されている内容と同程度の提案である場合、図面等の変更が伴う提案である場合などは、評価点を与えることができないためである。</p> <p>本件は、工期的にスライド請求の対象となる工事ではない。</p> <p>なお、予定価格については最新の単価に基づいて積算している。</p> <p>収容施設内の工事であるため、立入制限が厳格であるなど、通常の官公庁工事よりも施工上の制約が多いことから、収容施設内における工事の実績がない業者は、あらゆるリスクを想定</p>

<p>(3) 令和3年度加古川刑務所静穏室新営工事 [第2回]</p> <p>本件については、落札率が高く、複数の応札業者が辞退しているが、辞退理由は把握しているのか。</p> <p>また、発注者には辞退理由の調査権限はないのか。</p> <p>6 業務抽出案件について</p> <p>(1) 神奈川少年更生支援センター（仮称）実施設計業務 [第1回]</p> <p>技術提案のうち、テーマ2におけるBIMの有効な業務実施上の工夫について、評価担当者はどのように評価しているのか。</p> <p>参加表明書評価一覧表（技術力等）の中で、「法務省発注業務の評価」が低くなるのは、どのような場合か。</p> <p>(2) 令和3年度千葉刑務所静穏室等新営実施設計業務 [第2回]</p> <p>本件における落札率が低いが、何か考えられる要因はあるか。</p> <p>今後、他施設において同案件の調達を行う場合、施設によっては要件が異なることもあると思うが、適度な範囲での落札率となるよう、注視していただきたい。</p>	<p>し、諸経費を高く見積もる傾向があるため、入札金額に差が出た可能性はある。</p> <p>辞退理由について現地庁に確認したところ、近隣の他の工事を落札した等の理由であったとのことである。</p> <p>なお、発注者側に辞退理由の調査権限はないことから、任意のヒアリングとはなるものの、引き続き情報収集に努めていきたい。</p> <p>技術提案書提出説明書で示した評価基準項目の判断基準と実務で得た知見を基に評価している。</p> <p>過去の一定期間において、芳しくない業務成績があった場合に評価が低くなる。</p> <p>本件の受注者は、過去に静穏室と類似する保護室を設計した実績があり、その経験から低価格で入札したものと思われる。</p> <p>今後、注視していきたい。</p>
---	---